

2012年4月25日

プレスリリース

本資料は4月25日にチュ
ーリッヒで発表されたプレ
スリリースの翻訳版です

クレディ・スイス・グループ

2012年第1四半期業績を発表

ノーマライズド・ベース^(注*)の、株主帰属ベース純利益 13 億 5,500 万スイス・フラン (CHF) および株主資本利益率 15.9%、
自社社債の信用スプレッドの大幅な引き締めによる税引前公正価値評価損 15 億 5,400 万 CHF の計上を主たる要因として、純利益 4,400 万 CHF および株主資本利益率 0.5%、

プライベート・バンキング部門の純収益 26 億 5,100 万 CHF、税引前利益 6 億 2,500 万 CHF:

- ・新規純資産 84 億 CHF
- ・クラリデン・ロイ社の統合を含む同部門の戦略的再編化は順調に進行
- ・当四半期、大幅なコストおよび利益改善措置を実施

インベストメント・バンキング部門の純収益 41 億 4,000 万 CHF、税引前利益 9 億 9,300 万 CHF:

- ・当四半期においてリスク加重資産残高 (RWA) はさらに 380 億米ドル、15%の減少、前年同期比 33%減
- ・コスト基盤の縮小により業務効率化: ノーマライズド・ベース^(注*)の税引後バーゼル 3 配分資本利益率 19%、前年同期の 15%から増加
- ・複数の事業で、強力な顧客・市場シェア・モーメンタム

アセット・マネジメント部門の純収益 6 億 6,300 万 CHF、税引前利益 2 億 5,000 万 CHF:

- ・対アバディーン・アセット・マネジメント社持株の一部売却益 1 億 7,800 万 CHF を除く税引前利益 7,200 万 CHF

- ・主として単独低マージン・マンドートによる純資産流出分 137 億 CHF

当四半期のノーマライズド・ベース^(注*)費用ランレート、年率換算および FX (外国為替) 中立ベースで、2011 年上半期年率換算ランレート比 15 億 CHF 減少、前回発表の削減目標額 12 億を上回る

引き続き強固な資本基盤と資金調達力を堅持：

- ・バーゼル 2.5 中核的 Tier 1 資本比率 1.1 ポイント増の 11.8%
バーゼル 2.5 Tier 1 資本比率、0.4 ポイント増の 15.6%
- ・(資本水準の高い) ハイトリガー偶発転換社債 (CoCos 債) 7 億 5,000 万 CHF の発行の成功による、スイス国内のハイトリガー要件に対応、バーゼル 3 のもとにおいて効果のない資本調達証券 47 億 CHF の買戻し
- ・正味安定資金調達率 (NSFR) 100%達成

クレディ・スイス・グループ全体の RWA 総額が 2,940 億 CHF となり、前回発表の、バーゼル 3 に基づく RWA 縮小プログラムの目標値を上回る：インベストメント・バンキング部門の RWA は、2,100 億米ドル、前回発表の 2012 年事業年度末削減目標値 1,900 億米ドルの達成間近。

クレディ・スイス・グループは、4 月 25 日、当四半期業績を発表しました。当四半期中核事業ベースの(一時的な損益を除いた)ノーマライズド・ベース^(注*)の税引前利益は 19 億 1,800 万 CHF、同株主帰属ベース純利益は 13 億 5,500 万 CHF、同株主資本利益率は 15.9% でした。(一時的な損益を含めた)株主帰属ベース純利益は 4,400 万 CHF、希薄化後 1 株当たり利益は 0.03 CHF でした。

最高経営責任者 (CEO) のブレイディ・ドゥーガンは、当四半期業績について次のように述べています。

「当社は、2012 年度、良いスタートを切ることができました。2011 年中頃に発表した、当社の事業モデルとコスト基盤を進化させるための措置の効果が見え始め、市場環境の好転の利益も受けることができました。当四半期の業績は、当社の自己社債の信用スプレッドの逼迫による公正価値評価損の計上によりマイナスの影響を受けました。この影響分 16 億 CHF および、その他の主要な非業務関連項目の調整後の当四半期のノーマライズド・ベース^(注*)株主資本利益率は 15.9% で、グループ全体の目標レンジに合致しています」。

「当社のクライアント・フランチャイズ事業に投資しながら、リスク削減と厳格なコスト管理を図ることは、常に当社の優先課題です。当第 1 四半期では、当社の全事業を通じて優れた収益ミックスを達成した一方、年率換算費用ランレートを 15 億 CHF 削減できました。こ

これは、前回発表した削減目標値 12 億 CHF を上回っています。当四半期の業績は、当社の事業モデルが創出できるものを示していると同時に、当社がここ数年来構築してきたクライアント・フランチャイズ事業の強さを強調するものでもあります。プライベート・バンキング部門では、顧客活動が引き続き低水準で推移しているものの、当四半期では新規純資産 84 億 CHF を達成、2009 年年初来の新規純資産総額 1,490 億 CHF の獲得に貢献しています。また、インベストメント・バンキング部門における過去 1 年間のバーゼル 3 に基づく RWA の 33% 削減の達成に加えて、事業全体を通じて当社の市場シェアのポジションと顧客活動活発化の勢いを改善できたことを嬉しく存じます」（ドゥーガン）。

「第 1 四半期で RWA をさらに削減でき、前回発表した、インベストメント・バンキングのバーゼル 3 に基づく 2012 事業年度末 RWA 目標値 2,100 億米ドルも達成間近となりました。当四半期中、7 億 5,000 万 CHF の偶発転換社債の発行の成功により、予期されたハイトリガー偶発資本に関するスイス国内の要件を達成することができました。さらに、強力な流動化ポジションにより、現在提案されているバーゼル 3 の枠組みに基づく規制資本としては不適格となった資本証券 47 億 CHF を買戻すことが可能になり、正味安定資金調達率（NSFR）100% を達成しました。この二つの措置によって、バーゼル 3 の規制要件対応への準備に向けて、当社の規制資本を一層強化することができました」。

決算ハイライト

	ノーマライズド・ベース*		報告ベース	
	2012 年 第 1 四半期	2012 年 第 1 四半期	2011 年 第 4 四半期	2011 年 第 1 四半期
単位：百万 CHF（別途記載がある場合を除く）				
当期純利益（損失） 株主 帰属ベース	1,355	44	(637)	1,139
希薄化後 1 株当たり利益 (CHF)	1.01	0.03	0.62	0.90
株主資本利益率 株主帰属 ベース（年換算）	15.9%	0.5%	(7.7%)	13.4%
バーゼル 2.5Tier 1 資本比率 (期末)	-	15.6%	15.2%	14.7%
運用資産（10 億 CHF）	-	1,249.6	1,229.5	1,282.4
中核事業ベース				
純収益	7,254	5,878	4,473	7,813
貸倒引当金繰入額	34	34	97	(7)
営業費用合計	5,302	5,804	5,374	6,195
税引前利益（損失）	1,918	40	(998)	1,625

* 上記のノーマライズド・ベース業績は、GAAP 非対応（「一般に公正と認められた会計原則（GAAP）」によらない）財務評価基準によるものです。調整済み情報は、本リリースの 6 ページをご参照ください。

部門別業績

プライベート・バンキング部門

グローバルベースのウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内コーポレート&インスティテューショナル顧客事業で構成される、プライベート・バンキング部門は、当四半期において、純収益 26 億 5,100 万 CHF および税引前利益 6 億 2,500 万 CHF を計上しました。当四半期の純収益は 2011 年第 4 四半期を 3% 上回りましたが、これは主としてトランザクション

ベースの収益の増大によるものです。営業費用合計は、2011年第4四半期を2%下回りましたが、これは一般管理費の減少によるものです。

ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の純収益は21億8,500万CHFを計上、前年同期を10%下回ったものの、2011年第4四半期を3%上回りました。これは主として、トランザクションベースの収益の変動によるものです。当四半期の税引前利益は、4億600万CHFでした（前年同期は6億2,400万CHF、2011年第4四半期は2億8,500万CHFをそれぞれ計上）。営業費用合計は、17億5,700万CHFで、前年同期を若干下回りましたが、これは、手数料関連費用および従業員報酬ならびに手当の減少、一般管理費の若干の増加によるものです。当四半期の営業費用合計は、当四半期に承認・支出されたPAF2報酬の付与による繰延報酬費用のすべてを認識したものの、2011年第4四半期を若干下回りました。当四半期の貸倒引当金は2,200万CHFで、前年同期の1,200万CHFを上回りましたが、2011年第4四半期の4,300万CHFを下回りました。これは、新規引当金の減少によるものです。当四半期のグロス・マージンは、トランザクションベース収益の大幅な減少と経常手数料等の減少を反映して、109ベーシス・ポイント（bp）で、前年同期を9bp下回りました。総利益は、2011年第4四半期に比べ安定的に推移しました。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内における法人顧客および機関投資家ならびに世界中の銀行のすべての金融サービス・ニーズを総合的に提供しています。当事業の当四半期の純収益は4億6,600万CHFを計上しており、前年同期と比べ安定的に推移し、2011年第4四半期を若干上回りました。これは主として、経常手数料等の増収によるものです。当四半期の税引前利益は2億1,900万CHFとなり、貸倒引当金の積増しのため前年同期を6%下回りましたが、貸倒引当金の減少により2011年第4四半期を20%上回りました。営業費用合計は、前年同期と比べ安定的に推移し、2011年第4四半期を5%下回りました。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の当四半期の純収益は41億4,000万CHF、税引前利益は9億9,300万CHFを計上しました。ノーマライズド・ベース^(注*)のバーゼル3配分資本利益は、前年同期の15%から当四半期19%に上昇しましたが、これは、事業ミックス・バランスの改善、市場シェア・モーメンタムの持続、バーゼル3RWAの大幅な縮小、業務効率化によるものです。

同部門の精緻化された戦略の実施に沿って、当四半期に、バーゼル3RWAは、さらに380億米ドル減の2,100億米ドルに縮小し、前年同期の3,120億米ドルを33%下回りました。

債券セールス&トレーディング業務の当四半期の収益は20億2,400万CHFを計上し、2011年第4四半期の実績を大幅に上回りましたが、これは、顧客モーメンタム、戦略の実施、トレーディング状況の改善、顧客の流入の改善によるものです。マクロ事業（グローバル金利および外国為替）、証券化商品ならびにグローバル・クレジット商品の業績バランスが改善し、新興国市場において好調な業績を上げました。収益は、前年同期を21%下回りましたが、これは主として、在庫水準の上昇から利益を受けた、前年同期の証券化商品の業績が四半期ベースで過去最高を記録したこと、および前年同期の収益に対して、撤退を決めた事業から損失を当四半期に計上したことによります。債券業務のバーゼル3RWAは、前年同期に比べ

45%減少した一方、減収はかなり小幅に留まり、同部門の精緻化された戦略の結果としての資本効率化とリソース配分の改善が具体的に示されました。

株式セールス&トレーディング業務は、当四半期の収益として14億100万CHFを計上し、売買高は引き続き低迷したものの、堅調でした。これは、プライム・サービス、キャッシュ・エクイティなど、主要事業全体を通じた安定した市場シェア・ポジションによります。デリバティブ業務は2011年第4四半期に比べ大幅に改善しましたが、これは、市場状況の改善と強力な顧客フローによるものです。当四半期の業績は、2011年第4四半期を84%上回りましたが、前年同期を12%下回りました。これは主として、顧客の件数と活動レベルの変動によるものです。

引受およびアドバイザリー業務の当四半期の収益7億6,100万CHFは、低調であった2011年第4四半期に対して47%増加しました。これは、ハイ・イールド投資適格債券の新規発行のための動きの増加により、市場シェア・モーメンタムと強力な債券引受業績が好調だったことによるものです。収益は2011年第1四半期に対して18%減少しましたが、これは業界全体の取引減少を反映しています。

当四半期の報酬および給付は、PAF2報酬付与関連繰延報酬費用が4億1,800万CHFの増加により20億6,300万CHFとなり、2011年第4四半期の実績を上回りましたが、前年同期を下回りました。これは主として、裁量的業績連動報酬費用の減少によるものです。営業費用合計は、前年同期、2011年第4四半期を、それぞれ下回りました。

アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の当四半期の純収益は6億6,300万CHF、税引前利益は2億5,000万CHF、税引前マージンは38%を計上しました。

2012年2月、アバディーン・アセット・マネジメント社に対する当社の投資の一部売却手続きが完了した結果、1億7,800万CHFの利益を計上しました。今回の売却により、当社の同社に対する出資比率は19.8%から9.8%に減少しました。この売却益を除いた税引前利益は7,200万CHFとなり、前年同期を1億7,500万CHF、2011年第4四半期を9,000万CHF、それぞれ下回りました。

投資関連利益は1億100万CHFで、前年同期を37%下回りましたが、2011年第4四半期を大幅に上回りました。

手数料収益4億900万CHFは前年同期を9%下回り、特にプレイスマント手数料、資産運用手数料およびエクイティ・パーティシペーションの各収入が減少しました。その他の手数料マージンは、前年同期の41bpに対し、40bpでした。

当四半期の営業費用合計は4億1,300万CHFで、2011年第4四半期比12%増、前年同期から安定的に推移しました。今回の費用には、PAF2報酬付与による繰延報酬費用の増加分4,600万CHFが含まれています。

部門別業績

単位：百万 CHF		2012年 第1四半期	2011年 第4四半期	2011年 第1四半期	2011年 第4四半期 からの増減率 (%)	2011年 第1四半期か らの増減率 (%)
プライベート・ バンキング	純収益	2,651	2,575	2,897	3	(8)
	貸倒引当金繰入額	40	75	12	(47)	233
	営業費用合計	1,986	2,032	2,029	(2)	(2)
	税引前利益	625	468	856	34	(27)
インベストメント・ バンキング	純収益	4,140	1,113	5,066	272	(18)
	貸倒引当金繰入額	(6)	22	(19)	-	(68)
	営業費用合計	3,153	2,534	3,605	24	(13)
	税引前利益	993	(1,443)	1,480	-	(33)
アセット・ マネジメント	純収益	663	458	594	45	12
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
	営業費用合計	413	368	419	12	(1)
	税引前利益	250	90	175	178	43

新規純資産

クレディ・スイス・グループの当四半期の純資産流出分は、71億CHFでした。プライベート・バンキング部門は当四半期、84億CHFの新規純資産を獲得しました。このうち、ウェルス・マネジメント顧客事業は新規純資産58億CHFに貢献しましたが、これは主として超富裕顧客層（UHNWI）と新興市場分野からの流入によるものです。スイス国内のコーポレート&インスティテューショナル顧客事業は26億CHFの資産流入がありました。アセット・マネジメント部門は、137億CHFの純資産流出を記録しましたが、これは主として単独低マージンの運用委託によるものです。

資本管理

クレディ・スイスは、推定正味安定資金調達率（NSFR）100%として、保守的な流動性の管理を継続しました。当社の資本基盤は引き続き強固で、当四半期末現在のバーゼル2.5中核的Tier 1資本比率11.8%、バーゼル2.5 Tier 1資本比率15.6%、2011年第4四半期に比べ1.1ポイント、0.4ポイント、それぞれ上昇しました。この上昇は、クレディ・スイス・グループの好調な業績および当四半期中の強力な規制資本創出によって牽引されました。

コーポレート・センター

コーポレート・センター当四半期の業績は、18億2,800万CHFの税引前損失を計上しました。この中には、自社社債の正味公正価値評価損に関連する8億9,400万CHF、特定ストラクチャード・ノート債務関連負債評価調整分（DVA）に関連する4億8,200万CHF、独立デリバティブに関連する1億7,800万CHFが含まれています。社債の公正価値評価損は、すべての通貨を通じた優先債券と劣後債券の信用スプレッドの縮小によります。2011年第1四半期の税引前損失は8億8,600万CHF、2011年第4四半期の税引前損失は1億1,300万CHFでした。

当四半期当初から、特定ストラクチャード・ノート債務関連DVAおよびクレディ・スイス社債の公正価値調整は、コーポレート・センターと事業部門の全体に対し分配せず、コーポレート・センターにおいて全額を反映しています。かかる組み換えを反映し、前期までの各事業部門の業績は、現在の表示方法に従ったものとなっています。

統合事業モデルのメリット

クレディ・スイス・グループの当四半期の統合事業モデルからのコラボレーション収益は9億4,800万CHFでした。

(注*) 下記の表中のノーマライズド・ベース基礎的業績は、GAAPによらない財務評価基準によるものです。表には、このような財務評価基準のうちの特定のものの調整分が含まれています。ノーマライズド・ベースおよび基礎的評価基準（3ページに掲載のノーマライズド・ベース基準を含む）、年率換算外国為替（FX）中立ベースに基づく当四半期のノーマライズド・ベース費用ランレートを、およびインベストメント・バンキング部門のノーマライズド・ベースの税引後バーゼル3配分資本利益の算定について詳しくは、当四半期業績説明会用スライドをご覧ください。

当四半期の主要項目の概要

単位：百万CHF	中核事業ベース業績税引前利益	法人税費用（利益）	支配権を有しない持分	株主帰属ベース純利益	株主資本利益率
報告業績	40	16	(12)	44	0.5%
自社社債信用スプレッドの変動による公正価値評価損 ¹	1,554	(444)	-	1,110	
整合化費用	68	(21)	-	47	
アバディーン・アセット・マネジメントの株式売却益	(178)	32	-	(146)	
基礎的業績	1,484	(417)	(12)	1,055	12.4%
PAF2 関連費用	534	(165)	-	369	
想定シェアベース報酬付与費用 ²	(100)	31	-	(69)	
ノーマライズド・ベース業績	1,918	(551)	(12)	1,355	15.9%

注

1 自社社債の公正価値評価損益は、米国GAAPに基づく時価会計の要素で、クレディ・スイス・グループの信用スプレッドのボラティリティを反映し、各社債の償還期間にわたって利益または損失を生じない。

2 PAF2費用を、当四半期の想定シェアベース報酬付与費用に置き換えることによって当四半期の早期報酬費用を調整。この算定は、シェアベース報酬付与（3年で権利確定）が、当四半期中、PAF2報酬付与（権利確定の早期化）の代わりに実施されたという想定に基づく。

本件に関するお問い合わせ先

クレディ・スイス

Tel : 03-4550-9893

クレディ・スイス AG について

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイス AG は、本部をチューリッヒに置き、世界50ヶ国以上に拠点を持ち、約48,700人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式（CSGN）はスイスで上場され、米国預託証券（CS）としてニューヨークでも上場しています。

Cautionary statement regarding forward-looking information \ non-GAAP information\ Basel III disclosures

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations and interest rate levels;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of continued slow economic recovery or downturn in the US or other developed countries in 2012 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration or slow recovery in residential and commercial real estate markets;
- adverse rating actions by credit rating agencies in respect of sovereign issuers, structured credit products or other credit-related exposures;
- the ability to achieve our strategic objectives, including improved performance, reduced risks, lower costs, and more efficient use of capital;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2011 under “Risk factors” in the Appendix.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the 1Q12 Credit Suisse Financial Release and the 1Q12 Results Presentation Slides.

As Basel III will not be implemented before January 1, 2013, our Basel III risk-weighted assets were calculated for purposes of this release in accordance with the currently proposed requirements and our current interpretation of such requirements, including relevant assumptions. Changes in the requirements upon implementation of Basel III would result in different numbers from those used in the release.